



趣味もいろいろあるが、HPに載せるのは……

筆者はそれらについてはあまり詳細に触れる必要がないと思っている。なぜなら、インターネットで歯科医院を検索できる人は、治療法や予防法についても同様に簡単に検索できるからであり、大学病院や専門家のページからかなりの情報が得られるのである。特殊な技術や装置をお持ちの方ならHP上でアピールすることが必要かもしれないが、いわゆる一般開業医のHPでは、簡単に紹介するか、あるいはそれらの情報が掲載されているHPのリンクを貼るだけで十分と思われる。

私たち一般開業医のHPは、“窓口としての情報”の提供、すなわち難しい表現を使うことなく、患者さんにとって気軽に相談したり、治療してもらえそうな“門戸の開放”を目指すべきだろう。専門用語やカタカナを多用する“難しい”HPや文字数の極端に多いHPには、ユーザー（患者さん）が再度訪れることは少ない。楽しく、わかりやすく、

より多くの人からアクセスされるHPが理想的だ。

### 継続は力、好きなことだから続けられる、趣味だから続けられる

HPは自ら情報発信を行う媒体である。インターネットユーザーにとって、HPをもたない歯科医院は存在しないのと同じことである。しかしながら、HPの目的が明確でないと、せっかく開設して閲覧できるようにしてもそれだけで終わってしまう。インターネット黎明期ならHPを開いただけで話題性はあったが、現在では、他の医院のHPと変わらない内容ではあまり閲覧者の増加は見込めない。院長の考え方や人柄が感じられる“やさしく、あたたかいHP”を目指したい。

情報は発信し続けることに意味があるが、診療の合間にHPの更新をしていくことはかなりの労力を必要とする。最近では、日常の出来事や診療の感想などを書き綴った“プロ

グ”で情報発信をする方も増えてきた。ユーザーにとっては院長の人柄が直に伝わる手段である。日記をつけることが苦にならない方にはお勧めだ。ブログはHPと比べて更新は楽だが、内容をしっかり吟味して書かないと反対に人柄を疑われる場合もある。

また、診療情報だけで更新を続けていくことには限界があるので、たとえば自分の趣味について紹介するコンテンツを設けるのが一番簡単な方法だ。自分の趣味なら新しいこと、書きたいことが継続的に生まれてくる。しかしながら、趣味については内容によってユーザーに誤解されやすいものがあるので、参考として左図にまとめてみた。

はじめからこまめな更新をするよりは、更新内容を保存しておいて、1～2カ月に1回くらいの更新ならそれほど負担にならないだろう。HPの開設、そしてそれを有効に維持・管理していくのには、想像していた以上の労力とセンスが必要かもしれない。しかしながら、ひとたび軌道に乗れば、ユーザーからの反響は想像していた以上の効果を期待できることは確かだ。

自由に情報発信ができるインターネットの世界だからこそ、楽しくやさしいHPの有効利用を期待したいところだ。

今回は「HP開設と管理の注意点」についてお話ししてみたい。